

シグマ研究委員会FP核データワーキンググループ 共鳴パラメータサブグループ 会合議事録

1. 日 時 昭和57年6月24日(木) 13:30-17:30
25日(金) 9:15-17:30
26日(土) 9:15-12:00
2. 場 所 原研東海研究所研究2棟222号室(24日)
304号室(25, 26日)
3. 出席者 菊池, 中島(原研), 松延(住原工; 24, 25日),
瑞慶覧(日立; 25, 26日), 川合(NAIG; 24, 25日)

4. 配布資料

- (1) 前回議事録(4/21, 22, 5/27, 28)

5. 議 事

- 5.1 前回議事録の確認
5.2 作業経過報告

松延: Rb-85, -87 について大久保のデータ ($\sigma\Gamma_n^{(0)}$, $\sigma\Gamma_n^{(1)}$, 一部 Γ_{tot}) に基づいて評価を進めている。問題点として, $\Gamma_n > \Gamma_{tot}$ となるデータが存在すること, Γ_γ の値として採用を考慮している測定が与えている Γ_n と系統的なずれがあることである。

菊池: Pr-141 の評価は終了した。Nd アイソトープについて, ファイル化の為の準備作業を進めている。また, CASTHY グループと連絡をとり, 非分離共鳴パラメータのチェックも実施中である。尚, 非分離共鳴エネルギーの上限は odd 核で 50 KeV, even 核で 100 KeV で合意している。

川合: Rh-103, Zr アイソトープの REPSTOR file の完全化を行なった。

5.3 ファイル化について

CASTHYグループでは、元素別にファイル化を進めるので、当サブグループとしても、元素別の評価のスケジュールをまとめ、CASTHYグループと調整することとした。

5.4 今後の評価作業について

(1) TREPWW5の改良要求

Γ_n, Γ_r の値のある測定について、capture areaを計算できるように要求が出され、コード改良について菊池委員に一任された。

(2) 評価手法の検討

Rb-85（松延委員担当）の例の場合、報告されている Γ_n, Γ_r の値からcapture areaを計算し、その値と採用を考慮している Γ_n の値とから Γ_r の値を求めるといった参考意見が出され、一応の賛意が得られた。

5.5 評価集中作業

以 上